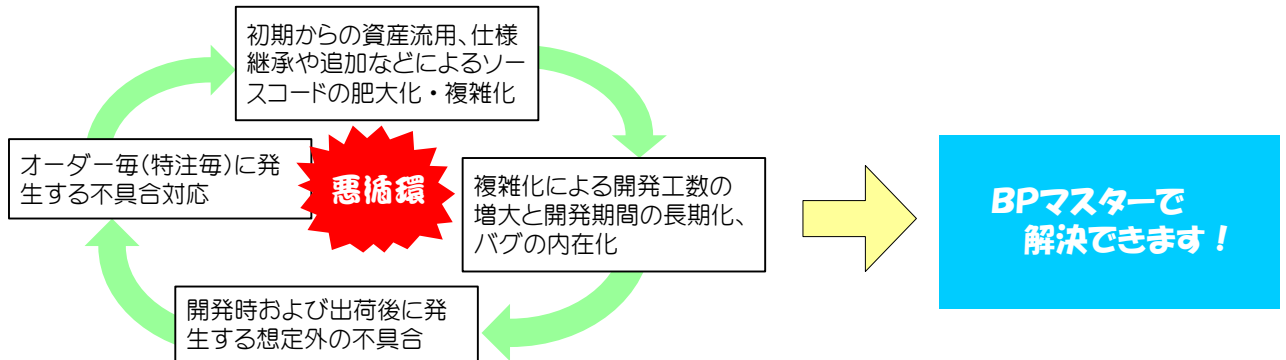


BPマスター

プロセス管理プラットフォーム

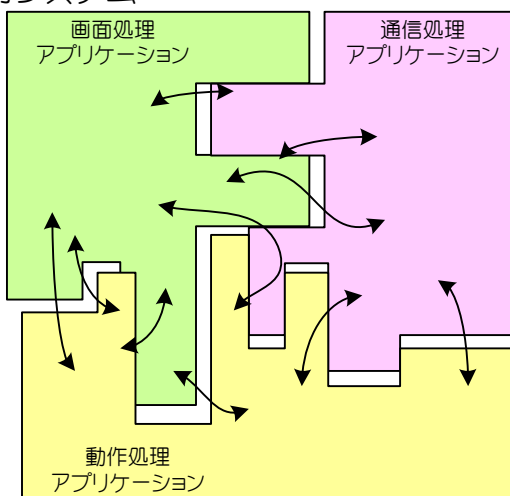
『BPマスター』とは、これまで数多くのシステム構築、再構築、システム解析を手掛けてきた株式会社ベイビグが、改造・改良・バージョンアップを繰り返すシステムの品質維持と変更費用削減の為に提案するシステム構築の強力なツールです。機械制御ソフトウェアの基盤となるプラットフォームとして、システム改造やプログラム変更を、容易かつ迅速に行なえる理想的なシステム構成を実現します。

機器制御ソフトウェアが陥りやすい悪循環



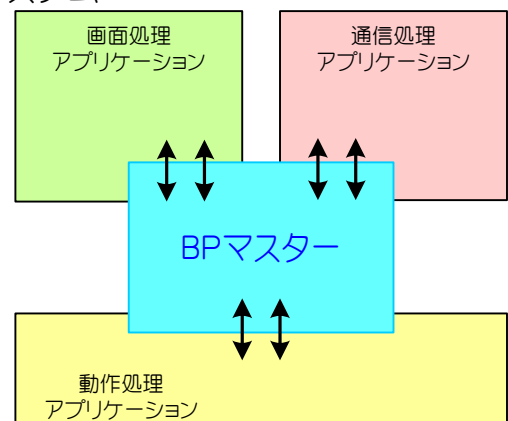
問題点を解決するためBPマスターを使ってシステム再構築を御提案します

現行システム



現行システムは、各処理が複雑に絡みあっている

新システム

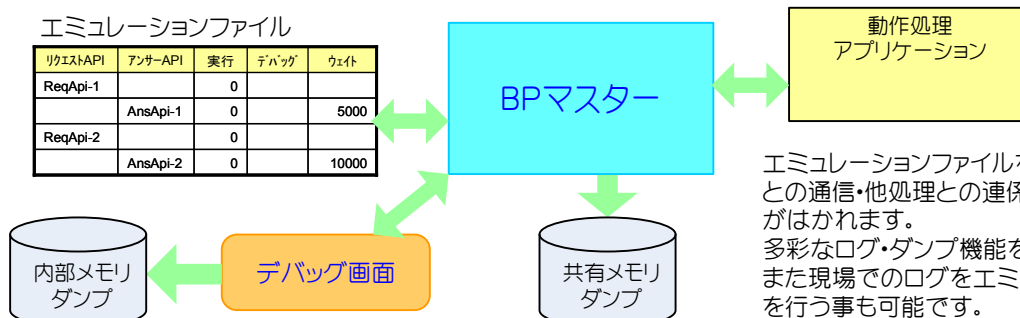


BPマスターにより、処理ごとに分離した構成が容易に構築できます

エミュレーションファイルを使った強力なデバッグ機能

特許取得

(動作処理アプリケーション単体でのデバッグ例)



エミュレーションファイルを利用する事により、擬似的な機器との通信・他処理との関係が可能になり、テスト作業の効率化がはかれます。多彩なログ・ダンプ機能を有しております。また現場でのログをエミュレーションファイルとして動作確認を行う事も可能です。

MVCモデルに準拠し、マトリックスを多様した画期的なシステム構築



◎MVCモデル(※1)に則ったシステム構築手法を採用した画期的な環境を提供します。

◎各種マトリックスを取り入れることにより、より進化したMVCモデルを実現します。

具体的には、ボタンイベントや動作処理からのイベントで実行する処理(状態遷移、動作処理への要求、画面処理への要求、画面属性)を外部ファイル(各種マトリックス)で指定することにより、画面処理と動作処理の分離が可能となり、システムの複雑化を抑制するとともに修正作業を容易にします。(上図はその一例です)

◎状態遷移の変更、呼び出し処理の変更、ボタンの有効・無効の変更などに対して、プログラムを変更することなくマトリックスの変更のみで対応することができます。リバースエンジニアリングにおいても非常に有用です。

※1:MVCモデルとは、M(Model)、V(View)、C(Controller)の略で機能ごとに分割して開発する方法です。

Model ... 処理の中心的役割でロジックを担当

View ... ユーザへの画面入出力を担当

Controller ... ユーザからの画面入力を受け取り、その後の制御を担当

BPマスター導入のメリット

1. プログラムメンテナンスの効率化

- ◎究極の構造化プログラムが可能になります。
- ◎部品化されたプログラムを再利用する事による効率化。
- ◎高度なプログラムの平易な作成を可能にします。
- ◎流用設計を基本にしたシステム構築が可能になります。
- ◎機能変更などのアフター対応を容易に的確に行うことができます。

2. 処理性能の向上(一般的なWindowsプログラムに対して)

- ◎並列動作によるタクトタイムの見える化を行なえます。
- ◎優先処理の平易な対応が可能になります。

3. 開発作業を容易にしながら品質維持を実現

- ◎画面作成と動作処理を分離することによる開発の簡素化が可能。
- ◎OSに依存しないシステムの構築が可能。
- ◎各アプリケーションの並行開発が可能。
- ◎動作処理の階層化により、目的毎、単位動作毎、および複合動作毎の開発とデバッグが可能になります。
- ◎デバッグ環境を利用することによる工数の削減と品質維持を実現できます。

4. トータルメリット

- ◎品質、信頼性の向上を可能にします。
- ◎開発期間、工数の削減を可能にします。

株式会社ベイビック

<http://www.baybig.co.jp>



[本社] 〒567-0810

大阪府茨木市宮元町7番22号 仲辻ビル6F
TEL.072-631-0630 FAX.072-631-0631

[Tech Lab] 〒629-2402

京都府与謝郡与謝野町算所36
TEL.0772-44-3001 FAX.0772-44-3002